

# 予後の良好だった症例



吉田隆実院長(右端)らに見守られ、父親の立佳さんに抱かれる光君。静岡市葵区漆山の県立こども病院

池転落、心肺停止10-30分  
**3歳、元気に退院**  
 立院 県こども病院

愛知県の山間部のため状態だった三歳男児が、池に二日転落し心肺停止 県立こども病院と聖隷三方原病院救命救急センターのドクターヘリとの連携による救命で意識が回復し、後遺症も全くない状態で二十二日、同病院を退院した。

県立こども病院によると、男児は愛知県田原市の会社員玉越立佳さん(四三)の長男光君。二日午前十時ごろ、同県設楽町の氷の張ったため池に沈んでいるのが見つかった。

こども病院に搬送。搬送時は体温二八度と高度な低温状態だった。

同病院は小児集中治療センター(PICU)で脳低温療法などの集中治療を実施。六日に意識が回復し始め、十二日には一般病棟に移れる状態まで回復したという。

二十二日、県立こども病院で、光君や家族とともに会見した吉田隆実・同病院院長は、ドクターヘリとの密接な地域連携で、高度救命救急センターとしての機能が発揮できたと強調した。

